



## 地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース

## 開院5周年記念特集号

### 院長あいさつ

お蔭様で順天堂大学医学部附属練馬病院も5周年を迎えることができました。これもひとえに練馬区長をはじめ、練馬区、練馬区医師会、練馬区民の皆さま方のご協力とご理解の賜物と心から厚く御礼申し上げます。

現在、外来患者数につきましては、当初より多くの患者さんにお出でいただき、一日平均1,300余名に及びます。入院患者数につきましても、当院は400床規模でございますが、平均病床利用率はほぼ100%の満床状態でありまして、慢性的病床不足で、多くの患者さんに入院していただくことが出来ず、大変なご迷惑をおかけしております。平均在院日数は、10日から11日であります。救急患者は、1ヶ月ほぼ400~500人で、大変多くの救急車も受入れ地域の救急医療に貢献させていただいております。

また、当院の医療圏は人口70万人の練馬区を中心に周辺地域を合わせて100万人近いものがあると存知ますが、患者さんの地域分布を見ますと65%~70%は練馬区の方でございます。このような状況下で、開院以来医療事故も皆無で患者さんも多く、極めて順調であります。一方病院が大変手狭になり、区民の方々のご要望に応え切れないのが最大の悩みでございます。いずれにせよ、当院は今後も練馬区民の心と身体の癒しのオアシスとなるべく、スタッフ一同力を合わせ、精進努力したいと思っておりますので、皆さまにおかれましては、今後倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。



院長 宮野 武



# 順天堂大学練馬病院開院5周年

## ご挨拶



理事長  
小川 秀興



院長  
宮野 武



練馬区長  
志村 豊志郎様



練馬区議会議長  
西山 きよたか様



鏡割り



お祝いの和太鼓 石神井太鼓保存会せんば太鼓



相撲甚句 呼び出し「吾郎」様  
下家 義久様

## ご挨拶



衆議院議員  
木内 たかたね様



練馬区医師会会長  
秋田 博伸様



衆議院議員  
すがわら 一秀様



「練馬区の歌 わが街・練馬」斉唱



ジャズ演奏 中本マリ カルテット様



司会 小柳 美江様





学校法人順天堂  
理事長 小川秀興

本日は、大変お書きの中、かくも多数の方々にご参集いただきまして、ありがとうございます。地域の方々のために、順天堂はお役に立ちたいという思いをこめて、練馬院長以下多数の人材を練馬区に送りました。そして、このように練馬の方々を馴染ませていく姿を目にし、本当に嬉しく思います。

順天堂大学は、本年をもちまして開塾・開学一七三年目になります。江戸の薬研堀から始まり、千葉の佐倉、そして再び文京区の本郷に帰ってまいりまして一五〇年くらいになります。現在、六つの附属病院を擁しております。本院は、ご承知の通り御茶ノ水の駅前、そして隣には、この日本を背負って立つ国立病院が2つ、そして近隣には他にも、数えただけで十を越える大病院があります。その中で切磋琢磨、お互いを称え合い、協力して日本の医療を担ってまいりました。また、本郷は、そういう意味で全国の方々に頼りにされております。また、近頃では海外から多数頼りにしておいでになる方がおります。

しかし、この都心に居を構えるのみであってはなりません。順天堂の建学の精神であります、地域の中に溶け込んで、そしてみんなから頼りにされて、あらゆるケースを研究し、一般の地域医療や、恵まれない人にも救いの手を差し伸べたいという気持ち。そのような思いから、医療過疎地と言われるようなところにも、順天堂は医療を提供してまいりました。

この練馬に順天堂を建てることになりましたのは、練馬区の方々のご要望にお応えし、本日よりお願いしていただいております。若波前区長、志村現区長そして西山区議会議長をはじめ、区議会の先生方、木内先生、菅原先生等、多数の政財界の方々のご支援によるものでございます。医療と教育は党派を超えて国民の熱き要望でございます。どうかひとつ日本は国政のレベルで医療を考え、そして教育にもぜひとも更なる力を入れていただきたいと思います。

また、日本医師会、特に地域の医療を支える医療界の方々とは、大変厚いつきあいがございます。本日は、秋田会長をはじめ、練馬区医師会の先生方が多数ご参集いただきまして、本当にありがとうございます。本日は、確認いたしましたところ、紹介率六五・八％という、地域の医師会の方々から頼りにされているということ、練馬院長から報告を受け、医療を支える方々が力を併せて頑張ってくれているのだと、大変嬉しい思いでございます。

本日に暑く、また梅雨と盛夏が一緒に来たような日々の中、そしてまたこの忙しい参議院議員選挙の最中に、かくも多数の方がご参集いただきまして、本当にありがとうございます。順天堂大学四学部、六病院をあげて国民のために、練馬区のために、とまずれば国民のため、高齢者医療のために、できるだけお力になりたいと思っております。「人ありて我在り、他を想いやり、慈しむ心。これ即ち、仁。」という順天堂の学是に則り、大学病院存在の意味を考えながら職員一同精進してまいります所存です。

開院五周年記念祝賀会をめでたく迎えることができ、本当に皆さんありがとうございます。今後とも、よろしくお願いたします。簡単ではございますが、お礼の言葉を申し上げます。



練馬区長  
志村豊志郎

順天堂大学医学部附属練馬病院が開院五周年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

また、このような栄えある席に、お招きいただきましたことを、高い席からでございますが、厚く御礼申し上げます。早いもので、平成十七年七月の開院から五年が経過いたしました。貴病院は、順天堂大学をはじめとする関係者の皆さまのご努力と練馬区民の思いが一体となって、様々な困難を乗り越え、大きな期待を背負うなかで船出をされました。その後、順調な病院運営のもと、区民から大きな信頼を勝ち取り、この節目の年を迎えられましたことに、五年前の開院式典に出席させていただいた私といたしましても、大変感慨深く感じているところであります。

さて、貴病院は、都内の医療圏域とともに配置されている「地域救急医療センター」として地域医療機関の要となり、二十四時間三六五日の救急救命医療や、準夜間帯の小児救急医療を実施しております。さらに、平成二十一年一月には、東京都脳卒中急性期医療機関として認定されたほか、特に力を注いでいるがん対策において、高度医療機器による総合的

かつ高度な検査・治療に取り組まれ、本年四月には、東京都認定がん診療病院として認定されました。これらのことは、区民の皆さまの生活に非常に大きな安心をもたらしているものであります。これまで積み重ねてこられたご努力により、今では、年間の入院患者数十四万人、外来患者数二十三万人を数え、全国有数の利用者数を誇る病院となりました。そして、そのうちのおよそ七割が練馬区民であるとおります。区内医療機関の要として、七十万練馬区民の安心のために日夜努力されておられますことに対し、深く敬意を表するとともに、練馬区を代表いたしまして、心から御礼申し上げる次第であります。

これからも、最適な医療サービスを提供するべく、最優秀な医療スタッフによってご提供いただき、区民の皆さまの信頼に応え続けていただければ幸いです。区は今後とも、貴病院と日本大学医学部附属練馬光が丘病院や練馬区医師会、区内医療関係機関との協力・連携の強化を進めることにより、地域医療のさらなる充実を努めてまいります。どうか、関係者の皆さまのなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、順天堂大学医学部附属練馬病院の一層のご発展と、順天堂大学の皆さま、ご臨席の皆さまのますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。



練馬区議会議長  
西山きよたか

順天堂大学医学部附属練馬病院開院五周年記念祝賀会にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。記念祝賀会の開催にあたりまして、区議会を代表して一言、お祝いの言葉を申し上げます。順天堂大学医学部附属練馬病院開院五周年、誠にめでたくございます。心から慶び申し上げます。

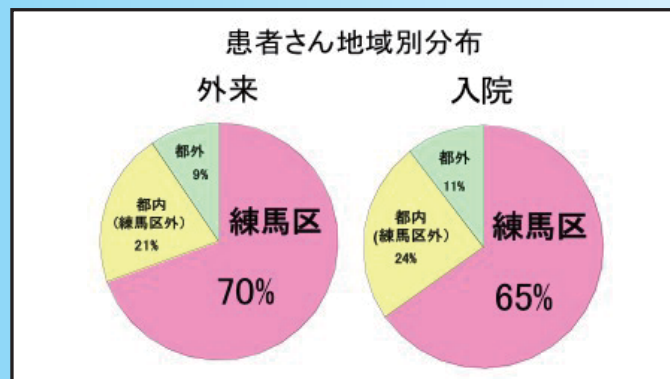
順天堂大学医学部附属練馬病院は、平成十七年七月一日に開院以来、五年という節目の年を迎えられました。皆さまのご案内の通り、練馬区の医療施設整備におけるそれまでの道のりは、多くの課題や困難を伴ってまいりましたが、順天堂大学をはじめとする関係者各位の多大なご協力を得まして、練馬区および練馬区民の長年の悲願でありました地域医療の要である総合病院として貴病院が開院されたものでございます。貴病院は、重点医療として救急、小児救急、災害医療、がん診断、治療に取り組まれ、最新の医療設備と医療技術による高度な医療の提供を行っていただいております。

また、地域医療機関との連携を大切にして、災害時の拠点施設として

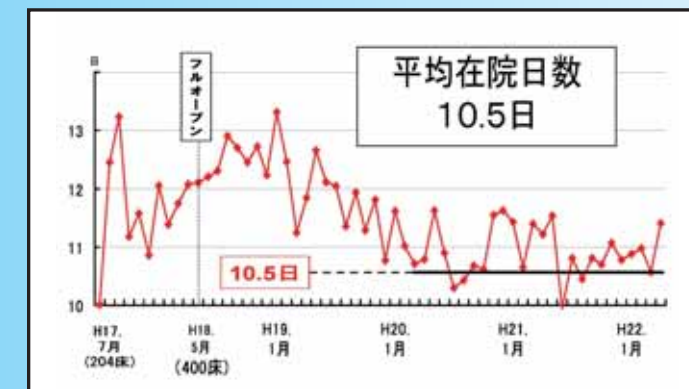
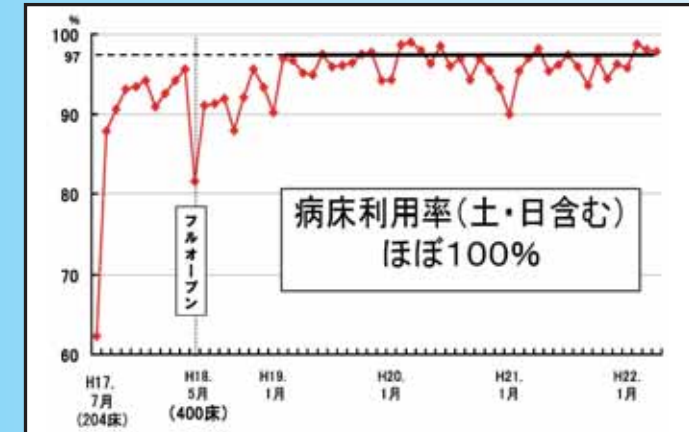
も十分機能を備えた練馬区の基幹病院として、安心して健康で暮らせる環境を願う区民の期待に十分に応えていただき、厚い信頼が寄せられているところであります。これも、順天堂大学関係者各位の皆さま方のご尽力の賜物と本席をお借りいたしまして、衷心より御礼を申し上げます。また、順天堂大学病院関係者の皆さま方におかれましては、今後とも引き続き練馬区民の健康づくりに、格別のご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。また、練馬区医師会などの医療関係機関との協力・連携を更に深めていただくなど、地域医療のより一層の伸展と充実のため、ご尽力、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、順天堂大学医学部附属練馬病院のより一層のご発展と、本日はご臨席の皆さま方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。

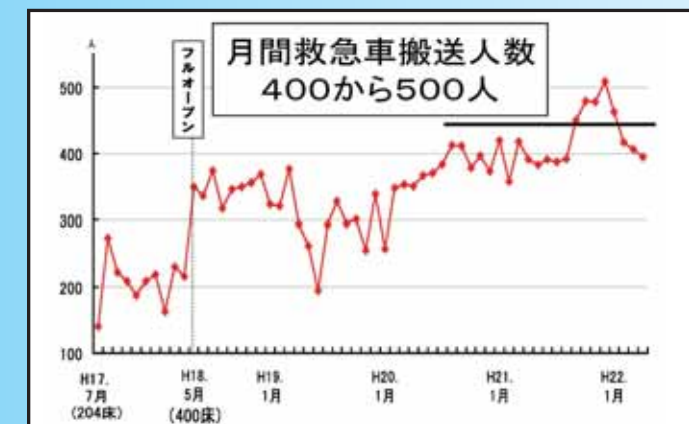
## 1 外来



## 2 入院



## 3 救急



## 新任 副院長 紹介

副院長

血液内科 教授 平野隆雄

平成17年7月に順天堂大学練馬病院が開院して6年目に入り、当院が練馬区民に愛される病院、地域の方々に信頼される病院として発展し、定着して来ている事を実感しているこの頃です。また大学病院としての役割も増え、先進医療の提供出来る病院として努力して参りました。

今後も宮野院長、児島副院長をサポートし病院の発展に微力ながら貢献できればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



教授 平野隆雄

## 新任 院長 補佐 紹介

院長補佐

小児外科 教授 浦尾正彦

このたび、順天堂大学練馬病院 院長補佐を仰せつかりました。私は開院以来、小児外科の科長として診療に従事する傍ら、医療安全管理室長として練馬病院の医療の安全性向上に尽力してまいりました。

今年、当院は開院6年目を迎え、医療もますます高度化していますが、今まで以上に病院職員が一丸となり、より安全、安心な医療を行えるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



教授 浦尾正彦

